

AI活用

信頼を起点に、 AIと人の力で実現する 金融の新たな価値創造

AIの進化は極めて速く、すでに金融においても業務執行を支える基盤になりつつあり、その活用においては最先端の技術を取り込みつつ、オペレーションを可視化し、データやシステムの基盤を地道に整え、ビジネスモデルを変革していく営みが重要となります。

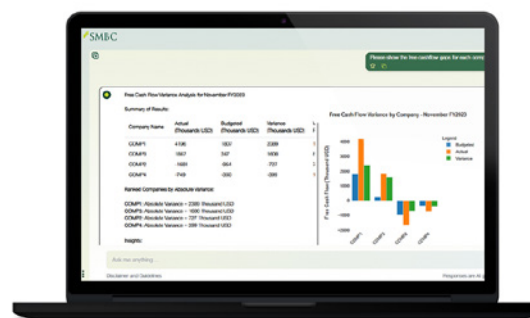
SMBCグループではAIの活用を通じて、社員一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、より深い洞察、対話を通じてプロダクトやビジネスモデルを進化させることで、お客さまへの付加価値をさらに高める、変革とともに担うトラステッド・パートナーを目指しています。

今後、AIが業務判断や執行に関与することは避けられません。だからこそ、透明性、説明責任の重みは一段と増し、最も重要な要素は「信頼」になると考えています。その原点を踏まえ、謙虚に、大胆にAIを通じた業務変革を進めていきます。



AIとともに拓く、SMBCグループの新たな成長

SMBCグループはAIを活用したビジネスの加速に向けて、2024年10月に500億円の投資枠を設定しました。2025年度までに約70件の案件を承認し、経理業務や与信審査の効率化に加え、24時間365日、高品質な応対をするAIオペレーターの展開等、お客さまの金融体験向上に着実に取り組んでいます。新中期経営計画期間では1,000億円の投入を予定しており、生成AIを活用してお客さまの財務分析・経営意思決定を支えるCFO AgentやトランザクションバンキングへのAI活用等、お客さまのビジネスに溶け込むソリューションの提供を進めます。



CFO Agent操作画面

また、社員のAI活用に向けて、2025年度、社内生成AIツール「SMBC-GAI」に約130万ファイルの規程等を読み込ませ、必要な情報へ迅速・的確にアクセスできる基盤を整備しており、足元では全社員の約90%が利用しています。2026年度はCopilotを国内外の主要子会社の全社員に展開し、各人がAIを使いこなし、高度な判断や付加価値創出に注力できる体制作りを進めています。

加えて、外部パートナーの最先端のAI技術とSMBCグループの金融知見・事業基盤を組み合わせた事業開発を進めていきます。2025年7月にはアジアに加え米国にもCVCファンドを設置し、11月にはkAgentic社への出資を通じてAIエージェント時代を見据えたグローバルな事業開発を推進しています。また、2026年3月にはAIにかかる高い知見と実装力を持ったエクサウィザーズ社と資本業務提携を行っており、ユースケース創出から開発・実装までを一体的に加速していきます。

Topics

Digital CX Awards 2026での受賞

2026年4月、The Digital Bankerが主催するDigital CX Awards 2026において、「CFO Agent」は、お客さまの体験向上のための生成AIの活用事例として最優秀賞、テクノロジー活用事例として優秀賞を受賞しました。

お客さまごとに異なるコンテキストを反映した精度の高い分析を実現することで、従来数時間を要していたデータ統合・照合作業を数分に短縮したことや、出力制御や処理履歴の確認等の機能を備えることでガバナンスと信頼性を担保したこと等が評価されました。

SMBCグループ初となる生成AI関連の対外アワード受賞です。